

Action		Plan	
学校・園の現状・実態		めざす学校像・子ども像・教員像	
<p>○全国学力・学習状況調査や福岡市生活習慣・学習等定着度調査結果によると、算数は全国および福岡市の平均を上回っているものの、国語は平均を下回っている。</p> <p>○昨年度、71件にもものぼる児童の病院搬送事故(ケガなど)があり、やや落ち着きにかける実態がある。</p> <p>○友達相互のトラブルが多く、保護者を巻き込み、担任を疲弊させている実態がある。Q-Uアンケートの結果からも支援を必要としていたり学級生活に満足をしていない児童が明らかに多い実態が見られた。また、今年度の学級担任決めにおいても、高学年の希望者がまったくいないという実態がみられた。</p>		<p>○明るい挨拶がとびかい、モクモク掃除に徹し、友だちを誘って仲良く遊ぶなど、素直で温かい学校文化が学校中に満ち、安心して学ぶことができる学校</p> <p>○元気よく笑顔で気持ちのよい挨拶ができ、進んで学ぶ子ども</p> <p>○共感的に子どもを理解し、個に応じたきめ細やかな指導ができる教員</p>	
		指標(取組指標・成果指標)	
		楽しい授業・わかる授業づくりと、家庭学習の習慣化を図る。	<p>テーマ研究の算数の授業公開を全研3回、部研3回、学年研9回を行い、全員授業公開を行う。</p> <p>1時間の学習過程の中に「書く活動」を必ず1回は取り入れ、自分の考えを深めさせる。(職員自己評価80%)</p> <p>福岡市生活習慣・学習定着度調査において、市平均まで高めることができるようにする。</p> <p>6. 11月に家庭学習の定着度調査を実施し、10分×学年+10分の学習時間80%以上の定着をめざす。</p>
課題	今後の改善方策	規範意識の醸成と、ケガのない落ち着いた学校生活を送る。	<p>昨年度のケガの傾向を分析し、病院搬送事故71件から半分に減らす。</p> <p>毎月のめあてを守るために、各学級で具体目標を決め、児童による自己評価85%をめざす。</p> <p>毎月1日の安全の日のチェックや日常の管理を徹底し、校長・教頭・教務の日々の巡回を確実に行う。</p> <p>読書運動に取り組む。一定量(50、100、200冊・・・)を読んだ児童に賞状を配布(目標400枚)する。</p>
わかる授業、楽しい授業づくりと、家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ研究を通し、算数の授業公開を全職員が行う。 ・学期に1回、年3回、家庭学習の定着度調査を行い保護者に公表する。 		<p>交換授業を4年生以上において2学期以降、年間25時間以上実施し、学年単位で子どもを育てる。</p> <p>ミニ集会を定期的に行ない、毎週1回はクラスみんなで遊ぶ日を設定する。(職員自己評価60%をめざす)</p> <p>各学級でふわふわ言葉の木を掲示し、その花を咲かせるように取り組む。児童の自己評価85%をめざす。</p> <p>4年以上のQU以外に、2~3年で年2回、4年以上で年1回のASSESSアンケートを行い、児童支援に努める。</p>
規範意識の向上と、校内におけるケガの削減・安全管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の病院搬送70件の事故分析を行い、改善に生かす。 ・毎月1日の安全点検や安全指導の徹底を図る。 ・ケガをしない体づくり・体力向上に向け、縄跳び運動を取り入れる。 		
支え合い、励まし合う学級集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ集会等やみんなで一緒に遊ぶ日を設定し、一人ひとりが大事にされる集団づくりに取り組む。 ・学期に1回、年3回、1ヶ月間、ふわふわ言葉の木を掲示し、相手を思いやる言葉や態度を育てる。 	いじめのない、支え合い励まし合う学級集団づくりに取り組む。	